

令和5年3月29日  
水管理・国土保全局下水道部

## 脱炭素化に資する下水汚泥資源の利活用技術の実証・応用研究に取り組みます

～B-DASH プロジェクトに4技術、下水道応用研究に5技術を新たに採択～

脱炭素化に資する下水汚泥資源の利活用技術等を開発するため、令和5年度は、B-DASH プロジェクトとして発酵熱を利用した効率的なコンポスト化の技術実証を行うほか、他分野で実用化されている技術の下水道施設への応用研究などを行います。

令和5年度に着手するB-DASH プロジェクト※及び下水道応用研究については、本年1月から民間企業や研究機関を対象とした公募を行い、学識経験者等で構成される下水道革新的技術実証事業評価委員会、下水道応用研究評価委員会による審査の結果、以下の9技術を採択することとしました（採択技術の概要は別紙参照）。

※ B-DASHプロジェクト：下水道革新的技術実証事業 Breakthrough by Dynamic Approach in Sewage High Technology Project

### <B-DASH 実規模実証>

- ①縦型密閉発酵槽による下水汚泥の肥料化技術に関する実証事業
- ②汚泥の高付加価値化と低炭素社会に貢献する超高温炭化技術に関する実証事業

### <B-DASH FS（フィージビリティスタディ）調査>

- ③活性汚泥併用型生物膜処理システムの開発に関する調査事業
- ④膜曝気型バイオフィルム法(MABR)を用いた排水処理の省エネ、 $N_2O$ 発生抑制技術に関する調査事業

### <下水道応用研究>

- ⑤紫外光を用いた $N_2O$ 、 $CH_4$ の分解技術による水処理からの温室効果ガス排出抑制
- ⑥実下水処理過程からの亜酸化窒素( $N_2O$ )発生抑制のための運転管理手法の確立
- ⑦スラグによるリン回収技術開発
- ⑧昆虫を利用した下水汚泥の飼料化と肥料化の研究
- ⑨管路における光学的水面下調査技術の開発

※開発課題又は調査研究の名称は各実施者からの提案によるもの。

### <問い合わせ先>

水管理・国土保全局 下水道部 下水道企画課 下水道国際・技術室  
課長補佐 西郷 進也、環境技術係長 金井 容秀  
TEL：03-5253-8111 [内線：34172、34134] 03-5253-8803(直通)